

# 手話言語条例制定に係る意見交換会（第1回） 議事録（概要）

---

【日 時】 令和7年3月21日 14:00～15:40

【場 所】 宿毛市役所1階101会議室

【出 席】 宿毛市（福祉事務所）、ろう者（聴覚障害者）、宿毛市手話サークル、  
中芸手話サークル（オンライン）、高知県聴覚障害者協会

---

## 1. 令和7年度スケジュール（市より）

条例制定の目標：令和7年12月議会での議決を目指す。ただし、状況により令和8年3月議会も選択肢とする。

意見交換会の開催方針：条例案作成に向け、意見交換会を2回程度開催する。

協議の考え方：回数より中身を重視し、十分に協議する（まとまらなければ年度をまたぐ可能性も含めて検討）。

## 2. 条例に関する要望、条例制定後の施策に関する要望（ろう者より）

### (1) 教育現場における手話の普及

ろう者：小学校で手話を学ぶ場をつくって欲しい。最低年1回以上の機会を希望する。教育委員会の参加、報酬等も整理希望である。

中芸手話サークル：授業時間に制約はあるが、子ども全員に対し継続して教育できるよう取り組みたい。

市：事業化時に回数等も決めて予算協議となる。

### (2) 市役所職員の手話理解促進

ろう者：月1回でも、研修の開催を希望する。可能なら業務時間内にできれば。

市：人事担当と協議し検討することとなる。

### (3) 手話通訳者等の育成

ろう者：近隣自治体と連携したい。

中芸手話サークル：難航例もあるため、まずは宿毛市から。

#### (4) 障害に関する理解促進

ろう者：市内在住者から啓発の要望があった。

#### (5) 情報保障と災害対策

ろう者：緊急時の見える化（ランプ等）の検討を希望する。障害特性に応じた支援と相互協力が重要となる。

中芸手話サークル：市単独予算が難しい場合、県への働きかけも検討して欲しい。

#### (6) 継続的な手話講座の開催

ろう者：できれば毎年開催を希望する。

市：予算を投じるため一定の参加人数が必要である。

#### (7) 普及啓発施策

中芸手話サークル：ライトアップ等が認知の機会となれば。

#### (8) 条例制定に向けた協議体制の強化

中芸手話サークル：北川村の体制と夜間教室の事例共有。広報掲載等で段階的に理解を広げることが重要である。

#### 次回までの主な作業

市：たたき台作成と事前配布（周知）